

**子どもたちが「日本の未来」をロボットで変える！
文部科学省後援「クリエイティブロボティクスコンテスト 2026」
2026 年 9 月 20 日（日）東京・渋谷で開催**

教育事業を展開するヒューマンアカデミー株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役：田中 知信、以下「当社」）の児童教育事業「ヒューマンアカデミージュニア」は、一般社団法人未来創生 STREAM 教育総合研究所（Research Institute of STREAM Education for Creating the Future、略称：RISE、以下「RISE」）が主催する「クリエイティブロボティクスコンテスト 2026」に協力します。

クリエイティブロボティクスコンテストは、ロボット工学に関わる知識・スキルを使って創意工夫を重ね、子どもたちが自ら学び、問いを探し、試行錯誤しながら答えを創造する力を引き出すコンテストです。第 3 回となる今年の大会テーマは、「日本の未来を、ロボットでもっとよくしよう。」です。

2026 年 9 月 20 日（日）、東京・渋谷の GMO インターネットグループ グループ第 2 本社「シナジーカフェ GMO Yours・フラス」に予選を通過した 25 名の出場者が集まり、「テーマ探究部門」「タイムアタックレース部門」の 2 部門で、日頃培ってきたロボット製作やプログラミングの成果を発表します。本コンテストは文部科学省の後援を受け、審査委員長には千葉工業大学 未来ロボット技術研究センター（fuRo）所長の古田 貴之氏を迎えます。

【本件のポイント】

- 文部科学省後援。9 月 20 日（日）、東京・渋谷で全国から予選を通過した 25 名が集うロボティクスコンテストを開催
- 「日本の未来を、ロボットでもっとよくしよう。」をテーマに、社会・地域課題の解決策をロボットで形にする「テーマ探究部門」を実施
- ロボット工学の第一人者・古田 貴之氏を審査委員長に迎え、ロボット・教育・デジタル分野の専門家が子どもたちの挑戦を審査



「クリエイティブロボティクスコンテスト 2026」公式サイト

<https://www.rise.or.jp/contest/2026/>

■背景

現行の学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が掲げられています。また、小・中学校の「総合的な学習の時間」、高等学校の「総合的な探究の時間」では、実社会や実生活との関わりから問いを見だし、自ら課題を立て、情報を収集・整理・分析し、まとめ・表現する探究的な学習が重視されています（※）。

AI やロボット、デジタル技術が急速に社会へ浸透するなか、これからの子どもたちには、既にある答えを覚えるだけではなく、自ら問いを見つけ、考え、試行錯誤しながら新しい答えを生み出す力が求められています。

ロボット製作では、機械の構造やプログラミングについて学ぶだけではありません。

「なぜ思った通りに動かないのか」「どうすればもっと良くできるのか」「学んだ技術をどのように生かせるのか」といった問いに向き合い、製作、動作確認、改善を繰り返していく過程そのものが、大切な学びとなります。

RISE は、子どもたちが身につけたロボット工学の知識・スキルを生かして創意工夫を重ね、自ら学び、問いを探し、試行錯誤しながら答えを創造する機会として、クリエイティブロボティクスコンテストを開催しています。

当社は、全国で展開するロボット・プログラミング教育の知見とネットワークを生かして本コンテストに協力し、子どもたち一人ひとりの挑戦と成長を支援します。

（※）文部科学省「平成 29・30・31 年改訂学習指導要領」および「高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）」

■「クリエイティブロボティクスコンテスト 2026」について

第 3 回となる 2026 年大会では、予選を通過した 25 名が本選に出場し、「テーマ探究部門」と「タイムアタックレース部門」の 2 部門に挑戦します。



2025 年大会の会場の様子

■社会や地域の課題をロボットで解決「テーマ探究部門」

「日本の未来を、ロボットでもっとよくしよう。」をテーマに、出場者が自分の住むまちや日本の社会が抱える課題を見つけて調査し、ロボットやプログラミングを活用した解決策を作品として発表します。

「防災・減災」「環境・脱炭素」「観光・地域文化」「福祉・共生社会」「一次産業の支援」などをテーマ例とし、これらに限らず、子どもたち自身が関心を持った社会や地域の課題を自由に設定できます。

本選では、作品の動作実演とプレゼンテーションを行い、課題設定、技術、デザイン、探究の過程、発表の分かりやすさなどを総合的に審査します。出場者は、完成した作品だけでなく、なぜその課題に着目したのか、ロボットやプログラミングを使ってどのような解決策を考えたのか、作品の仕組みや工夫した点などを自ら発表します。



2025 年大会での発表の様子

【前回 MVP も本選へ、2 連覇に挑戦】

今年のテーマ探究部門には、前回大会でクリエイティブ最優秀賞（MVP）を受賞した出場者も本選に進出します。前回大会では、自身の経験をもとに、舌下免疫療法を続ける子どもをサポートするおもちゃ型薬箱「こども専用舌下免疫療法薬箱Ⅱ」を製作。音声による服薬案内やクイズ、ごほうび機能などを盛り込み、MVP を受賞しました。

今年は「日本の未来を、ロボットでもっとよくしよう。」というテーマのもと、どのような課題に着目し、作品を発表するのか注目されます。



2025 年大会 MVP 受賞作品
「こども専用舌下免疫療法薬箱Ⅱ」

■当日発表のコースに挑む「タイムアタックレース部門」

タイムアタックレース部門は、自作のロボットを規定のコースで自律走行させ、走破タイムを競う競技です。本選で使用するコースは大会当日に公開され、出場者は1人につき2回走行する予定です。限られた機会の中で、より速く、安定してコースを走破するため、ロボットの構造やセンサー、プログラムなど、日頃培ってきた技術と工夫の成果を競います。なお、本部門では、ヒューマンアカデミージュニア「ロボティクスプロフェッサーコース」の専用キットを使用します。

また、今大会には、前回大会のタイムアタックレース部門で銅メダルを獲得した出場者が再び本選に進出するほか、「ヒューマンアカデミージュニア ロボット教室 全国大会」に3年連続で出場している出場者も挑戦します。当日公開されるコースをどのように攻略するのか、これまで培ってきた技術と対応力にも注目です。



2025 年大会「タイムアタックレース部門」の様子

■ロボット・教育・デジタル分野の専門家が審査、文部科学大臣賞などを表彰

審査委員長には、千葉工業大学 未来ロボット技術研究センター（fuRo）所長で、ヒューマンアカデミージュニア ロボティクスプロフェッサーコースのアドバイザーを務める古田 貴之氏を迎えます。

当日は、最高賞となる文部科学大臣賞をはじめ、テーマ探究部門とタイムアタックレース部門の金賞・銀賞・銅賞、審査委員や協賛企業などによる特別賞を表彰し、出場者の挑戦と成果を称えます。

【審査委員長】

古田 貴之氏

千葉工業大学 未来ロボット技術研究センター（fuRo）所長

ヒューマンアカデミージュニア ロボティクスプロフェッサーコース アドバイザー



【審査委員長】古田 貴之氏

【審査委員】

青木 俊介氏

ユカイ工学株式会社 代表

鹿野 利春氏

一般社団法人デジタル人材共創連盟 代表理事

文部科学省教育 DX 戦略アドバイザー等

森 輝幸氏

GMO メディア株式会社 代表取締役社長

田中 知信氏

ヒューマンアカデミー株式会社 代表取締役

■企業・教育機関・団体とともに子どもたちの挑戦を支援

本コンテストの趣旨に賛同する企業・教育機関・団体から、会場提供をはじめ、さまざまな形でご支援・ご協力をいただいています。子どもたちが日頃の学びや試行錯誤の成果を発表し、さらなる挑戦へとつなげる機会を、企業・教育機関・団体とともに創出します。

◆会場協賛：GMO インターネットグループ株式会社

◆協賛：株式会社ケイ・エス・ピー サレジオ工業高等専門学校 株式会社シード 株式会社セプテーニ
株式会社土佐電子 株式会社パセリ 株式会社プラス 株式会社マイナビ 株式会社ライフマップ
掲載企業名は五十音順に掲載しています。

■観覧のご案内

当日の大会を会場でご覧いただける観覧者を募集しています。全国から集まった子どもたちが、これまで取り組んできたロボット製作やプログラミングの成果を発表し、競技に挑戦する様子を間近でご覧いただけます。観覧は無料で事前予約制です。観覧をご希望の方は、専用フォームよりお申し込みください。

観覧申込フォーム：<https://forms.gle/fayvduKNoKThW7sg9>

■「クリエイティブロボティクスコンテスト 2026」開催概要

大会名	クリエイティブロボティクスコンテスト 2026
大会テーマ	「日本の未来を、ロボットでもっとよくしよう。」
開催日	2026 年 9 月 20 日（日）
時間	開会 10:30／閉会 17:00（予定）
会場	GMO インターネットグループ グループ第 2 本社「シナジーカフェ GMO Yours・フクラス」
所在地	東京都渋谷区道玄坂 1 丁目 2 番 3 号 渋谷フクラス 16 階
競技部門	①テーマ探究部門 ②タイムアタックレース部門
主催	一般社団法人未来創生 STREAM 教育総合研究所（RISE）
後援	文部科学省
会場協賛	GMO インターネットグループ株式会社
協力	ヒューマンアカデミー株式会社
大会公式サイト	https://www.rise.or.jp/contest/2026/

■今後の展望

当社は今後も、RISE との連携を通じて、全国で展開するロボット・プログラミング教育の知見とネットワークを生かし、子どもたちが身につけた知識や技術を使って自ら問いを見つけ、考え、試行錯誤し、新しい答えを生み出す学びの機会を広げてまいります。

なお、RISE では「クリエイティブロボティクスコンテスト 2026」に加え、2026 年度、全国 7 会場で地域密着型の探究成果発表イベント「探究フェス 2026」を開催しています。各地域の特色や課題をテーマに、子どもたちが探究の成果を発表・体験する機会を創出しています。

企業、大学、教育機関、地域などとの連携を深め、コンテストや探究成果発表の場を通じて、未来を担う子どもたちの創造力、技術力、課題解決力の育成に貢献してまいります。

■一般社団法人未来創生 STREAM 教育総合研究所（RISE）について

ロボット教育のもつ学びの可能性を提示し、客観的に評価する協会団体「一般社団法人 未来創生 STREAM 教育総合研究所（略：RISE）」を 2024 年 6 月に設立しました。社名にある STREAM 教育とは、STEAM 教育

（Science: 科学、Technology: 技術、Engineering: 工学、Arts: 教養/創造性、Mathematics: 数学）に Robotics（ロボット技術）の R を加えたもの。R には Reality（現実性）や Reviewing（評価）などの意味もあり、今後ますます複雑化する社会を生き抜くための教育方法です。

コンテスト運営や検定運営など、教育機関や教育関係者、企業パートナーと連携しながら、ロボット教育が与える子どもの成長を評価し、次世代を担う子どもたち一人ひとりが持つ無限の可能性を育み、未来のイノベーターを生み出す契機となることを目標としています。

公式サイト：<https://www.rise.or.jp/>



■「ヒューマンアカデミージュニア ロボット教室」とは

「ヒューマンアカデミージュニア ロボット教室」は、ロボットクリエイターの高橋智隆氏をアドバイザーに迎え、2009年6月にスタート。未就学児（5～6歳）から中学生を対象に全国で展開し、教室数は2,000教室以上、在籍生徒数は27,000名を超えるロボットプログラミング教室です（2026年3月末時点）。5歳から中学生までお子さまの年齢に合わせたさまざまなコースをご用意しており、「プレプライマリーコース」「プライマリーコース」「ベーシックコース」では、動くロボットを自ら作り上げ、試行錯誤を繰り返しながら構造や動きの仕組みを学びます。「ミドルコース」「アドバンスコース」では、さらにマイコンブロックやセンサーが追加され、専用タブレットを用いたビジュアルプログラミングでより複雑な動きを実現します。



子どもたちに科学の驚きと感動を与え、楽しく夢中になってロボット製作に取り組むうちに、新しい時代を生き抜く上で必要となる学びの基盤となる力が養われているというプログラムです。

●公式サイト URL : <https://kids.athuman.com/robo/>

■ヒューマンアカデミーについて <https://manabu.athuman.com/>

ヒューマンアカデミーは、学びの面白さを提供する「Edutainment Company」として、1985年の創設以来、時代や社会の変化にあわせながら800以上の講座を編成しました。未就学児童から中高生・大学生・社会人・シニア層とあらゆるライフステージにおけるSTEAM教育やリスティング、学び直しの支援を行っています。



さらに、独自の「ヒューマンアカデミーGIGA スクール構想」を推進し、学習支援プラットフォーム「assist」を開発。SELFing サポートカウンセラーと講師が、個別に学習目的や目標にあわせた進捗管理や相談などの学習サポートをします。私たちは、常に最先端の教育手法やテクノロジーを取り入れ、学びの喜びを追求し、質の高い教育サービスを提供していきます。

■ヒューマングループについて

1985年の創業以来「為世為人（いせいいじん）」を理念に掲げ、教育を中核に人材、介護、保育、IT、美容、スポーツと多岐にわたる事業を展開しています。

深刻な社会課題である「労働人口減」に対し、各事業の専門性を活かした4領域で解決を推進しています。教育・人材事業による「海外人材の活用」「成長産業分野の専門教育と労働移動」、介護（通所・訪問・ホスピス等）や保育・学童運営による「国内労働力の確保」、RPA・AI・IT活用を通じた「生産性の向上」に注力。SDGsへの貢献を通じて、誰もが自分らしく生き、学び、働ける社会の実現と、時代に即した労働環境の革新に取り組んでいます。



●ヒューマンホールディングス ウェブサイト : <https://www.athuman.com/>

会社概要

ヒューマンアカデミー株式会社

●代表者：代表取締役 田中 知信 ●所在地：東京都新宿区西新宿 7-5-25 西新宿プライムスクエア 1 階
●資本金：1,000 万円 ●URL : <https://manabu.athuman.com/>

■本件に関するお問い合わせ ■ ヒューマンアカデミー株式会社 担当 原・高橋
E-mail : ha_info@athuman.com

■ヒューマングループに関するお問い合わせ ■ ヒューマングループ 広報担当 若林
E-mail : kouhou@athuman.com